いわき市議会発足60周年
いわき市議会だより

■令和８年（2026年）11月13日　第215号

ほうれんそう





主な掲載内容（令和８年９月定例会）

定例会の概要 …… 2
委員会審査 …… 4
討論・賛否の状況・意見書 …… 5
一般質問 …… 6
議員定数のあり方検討特別委員会 11
議会改革推進検討委員会 …… 11
政策提案検討委員会 …… 11
決算特別委員会を設置 …… 11
会派の変更について …… 11
議会報告会・意見交換会 …… 12
表紙写真・編集後記 …… 12
次期定例会日程（予定）のお知らせ 12

ほうれんそう／ほうこく・れんらく・そうだんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

令和8年9月定例会

いわき市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正など　35議案等を可決・同意

定例会の概要

令和8年9月定例会は、9月3日から9月17日までの15日間の日程で行われました。

本会議初日に、市長から、条例の改正案4件、補正予算案13件及び決算の認定21件など、計46件の議案が提出され、主な提出議案について説明が行われるとともに、市政を取り巻く諸問題について報告がありました。

また、最終日には、市長から、補正予算案1件、人事案2件が追加提出されたほか、議員から、議会案1件、意見書案6件が提出されました。これらの議案等について慎重に審議した結果、決算の認定に関する議案21件を除き、原案のとおり可決・同意しました。

なお、決算の認定に関する議案については、9月10日に2つの決算特別委員会(※)を設置し、9月定例会の閉会後に審査を行うこととしました。

条例改正

◆いわき市職員の特殊勤務手当に関する条例の改正

国の法令改正に伴い、日常生活圏における危険鳥獣の緊急銃猟が認められたことを踏まえ、危険鳥獣の捕獲等の作業に従事する職員に支給する特殊勤務手当を創設するものです。

また、国に準じて災害時の応急作業等に従事する職員に支給する災害応急作業等手当の支給額を引き上げるものです。

【主な改正内容】

1　危険鳥獣捕獲等作業手当の創設

(1)　著しい危険が伴う作業
支給額：1640円／日

(2)　相当の危険が伴う作業
支給額：1100円／日

(3)　その他の作業
支給額：350円／日

2　災害応急作業等手当の引上げ

作業の区分	現　行	改　正
市内での巡回監視 等	日額　710円	日額　950円
市内での応急作業 等	日額 1,080円	日額 1,440円
市外に派遣されて行う災害応急作業 等	日額　710円	日額　950円
大規模災害時に行う災害応急作業 等	日額 1,080円	日額 1,440円

【施行日】公布の日

◆いわき市手数料条例の改正

地方公共団体情報システムの標準化に伴い、固定資産税の証明及び閲覧に係る帳票の様式が変更されることを踏まえ、固定資産税の証明及び閲覧に係る手数料の料金体系を見直すものです。

【主な改正内容】

固定資産税の証明及び閲覧に係る手数料の改定

区分	現　行	改　正
証明書の交付	土地は3筆、家屋は家屋番号1号、償却資産は1物件まで250円 【加算】1筆、1号、1物件増えるごとに50円	1年度、1納税義務者250円
閲　覧	1枚250円	

土地9筆分にかかる手数料の例

①評価証明書の交付
現行：250円＋300円（3筆）（6筆×50円）＝550円（合計手数料）
改正：250円

②名寄帳の閲覧
様式変更:1枚当たりの明細数 10件⇒4件
現行：1枚250円だったものが様式変更で3枚750円に…〈市民の負担増〉
改正：これまで通り250円

【施行日】規則で定める日

◆いわき市幼稚園条例の改正

いわき市立江名幼稚園について、園児数の減少に伴い廃止し、条例から削除するものです。

【改正内容】

廃止する幼稚園の削除

・名称　江名幼稚園
・構造　鉄骨造（平屋建）
・延床面積　506・20㎡
・建築年　昭和56年
・園児数　3人（5歳児）

【施行日】令和9年4月1日



▲江名幼稚園

人事案に同意

同意された人事案の詳細はこちらから

※　決算特別委員会の設置については、11ページを御覧ください。

補正予算 －主な事業－

〈令和８年度いわき市一般会計補正予算（第３号）〉

補正予算の総額　30億1,869万8千円

診療所開設・承継支援事業　【補正額】1,174万1千円

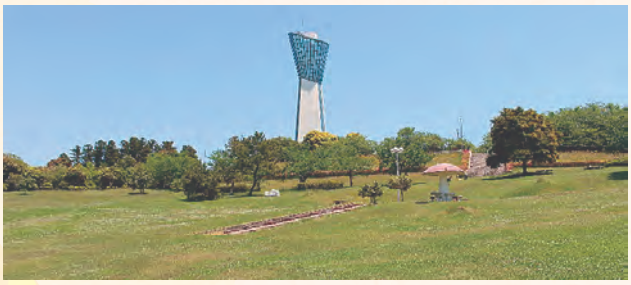
医療提供体制を確保するため、市内に診療所を新規開設・承継する医師等に対して交付する補助金について、申請者の増加が見込まれることから、事業費を増額する。

【令和８年度申請見込】
乳腺外科 1件 →（＋1件）UP→ 2件 循環器内科

－担当：医療対策課　☎ 27-8572（直通）－

三崎公園魅力向上事業　【補正額】1,914万円

持続可能で効果的な公園施設の運営を行うため、公募設置管理制度（Park-PFI）の活用に向け、民間活力導入可能性調査を実施する。





民間事業者	公園の立地を生かした収益施設の運営が可能となる
利　用　者	サービスが充実し、利便性・快適性が向上する
公園管理者	整備・管理の負担を減らしつつ、公園の魅力が高まる

民間収益の一部を公的部分の維持管理に活用

－担当：公園緑地課　☎ 22-7518（直通）－

サイクルツーリズム推進事業　【補正額】500万円

ふくしま浜通りサイクルルートのナショナルサイクルルート（ＮＣＲ）指定を契機に、インバウンド誘客や地域経済の活性化を促進するため、企業版ふるさと納税制度を活用し、11月１日開催予定の「ツール・ド・いわき」開催経費に対し補助を行う。



令和８年７月ＮＣＲ指定

国内外のサイクリスト等へルートの魅力発信

－担当：交流推進課　☎ 22-1279（直通）－

財産取得

児童及び生徒の健康と安全を確保し、教育環境の向上を図るとともに、避難所としての利用を見据え、地域防災機能の強化を図るため、移動式エアコンを購入するものです。

・名称　学校体育館用移動式エアコン
・数量　28台
・価格　5811万9600円
・納期　令和8年12月28日
・配置（各校4台ずつ）
小学校2校（小名浜西、小川）
中学校5校（平二、赤井、勿来二、内郷一、久之浜）



▲学校体育館用移動式エアコン

委員会審査

本会議５日目の９月10日及び本会議最終日の17日に、計26議案の付託を受けた４常任委員会は、９月11日及び17日に委員会を開催し、議案審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとの結論に達しました。

審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。Check!

政策総務 常任委員会

◆令和８年度いわき市一般会計補正予算（第３号）

Q 市の第１次イントラネット老朽化に伴う民間回線への移行について、先行切替地域は。

A 先行切替により課題が生じた場合の影響範囲や公共施設の立地状況を踏まえ、現時点では、中央台地区が先行切替地域として適していると考えています。

◆指定管理者の指定について（上荒川公園及び公園内体育施設）

Q 指定管理者の変更に伴う施設職員の雇用は。

A 安全・安心な施設管理のため、現在の職員の雇用を優先する必要があることから、８割から９割程度の職員は雇用を継続すると聞き及んでいます。

市民生活 常任委員会

◆令和８年度いわき市病院事業会計補正予算（第１号）

Q 医療人材育成を目的とした寄附金について、資格取得等に活用するとあるがどのような資格取得を想定しているのか。

A 高度な専門資格である認定看護師について、予算等の問題から例年１人から２人の対応にとどまっていましたが、寄附を受けたことによって対応人数を増加できないか考えているところです。

Q 債務負担行為の限度額が前回より減となった理由は。

A 私立保育所等を参考にした人件費単価の見直し、また、利用実績を踏まえた延長保育や夜間保育の利用時間の見直しと保育士の配置人数の精査を行った結果、限度額が減となっています。

教育福祉 常任委員会

◆令和８年度いわき市一般会計補正予算（第３号）

Q 休日夜間急病診療所に設置する発熱患者対応用の診察室を、プレハブとする理由は。

A 現診療所の増改築に比べ、診察室設置にかかる時間や費用が縮減され、また、施設を運用する中で改善点が見つかった場合に、改修等の対応が容易である点も勘案し、プレハブとしました。

◆財産取得（学校体育館用移動式エアコン）

Q 今後の設置計画は。

A 学校体育館の避難所としての利用を見据え、優先開設避難所に指定されている学校から設置を進めます。文部科学省が学校体育館等のエアコン設備について、令和13年度中に設置率を100％とする目標を示したことも踏まえ、早期の設置に向けて計画を検討していきます。

産業建設 常任委員会

◆令和８年度いわき市一般会計補正予算（第３号）

Q 三崎公園の魅力向上に向けた、今後の取組の方向性は。

A 現在の管理・運営の手法では、多様化する利用者ニーズに応えていくことは困難な状況にあるため、様々な公民連携の手法について検討していきます。

◆令和８年度いわき市一般会計補正予算（第４号）

Q アンダーパスの冠水事故防止対策を講じる優先順位のつけ方は。

A ランク分けをして危険度が高い所から対応していくこととなりますが、災害対策においては、各支所の経済土木課を含めた道路管理者において講じることとしていることから、各管理者ごとに優先順位を考えていきます。

討論

本会議最終日の９月17日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。

※ 本議案は、賛成多数により可決しました。

討論とは？
表決に先立ち行う、議案等に対する賛成か反対かの自己の意見の表明

令和８年度いわき市一般会計補正予算（第３号）債務負担行為補正 学校給食共同調理場整備・運営事業（好間工業団地）について

反対

学校給食は教育の一環であり、コスト削減による効率化を優先するより、安定的な供給や安全性・質の確保を図るべきであることや新たな調理場では、栄養教諭一人当たりの負担が大幅に増し、食育等の指導に支障が生じることなどから、反対である。

賛成

食材の納入について、納入事業者に対して説明を行い、地元食材の活用を含め、問題ないことが確認されていることや、配送業務への影響について、効率的な配送ルートの設定や、配送車両の増台等により、必要な体制を確保するとともに、緊急時への対応については、今後、有効な対応策を検討することとされている。また、施設の安定的な運営については、事業者選定において、実績等を十分に踏まえ、選定するとともに、運営開始後も定期的にモニタリングを実施していくことで、衛生管理も含めて、適正な整備・運営が実現できるものと考える。

よって、児童・生徒に対して、安全・安心な給食を提供するために必要な措置であることから、賛成である。

反対

学校給食共同調理場を統合、大規模化することにより、地元食材の割合を増やせるかが不透明であること、また、配送距離が遠くなることによるトラブルのリスクがあることや調理上のトラブルが発生した時の影響が大きいことなどから、少なくとも２か所への統合にするべきであるため、反対である。

議案に対する賛否の状況

本会議最終日の９月17日には、今期定例会に提案された議案に対する採決を行いました。

採決にあたり、賛否の分かれた１議案について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。

※ 下表中の（ ）は、会派の所属議員数です（議長は採決に加わりません）。

議案名	議決結果	政風会（13人）		創世会（７人）		真政会（５人）		公明党（４人）		共産党市議団（３人）		フォーラムいわき（３人）		正論（１人）		誠心誠意の会（１人）	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
令和８年度いわき市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	12			7	5		4			3	3		1		1	

意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めるため、国等に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の６件を可決しました。

- ○ 給付付き税額控除の制度導入に関する意見書
- ○ 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から15年の節目を踏まえた防災教育の抜本的強化を求める意見書
- ○ 熊被害防止対策の抜本的強化を求める意見書
- ○ 防災庁発足を見据えた地方公共団体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書
- ○ 夏休み中の子供の貧困対策及び緊急セーフティーネットの強化を求める意見書
- ○ ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

詳細はこちらから➡

そこが知りたい

一般質問

22名の議員が3日間にわたって論戦を展開

一般質問は、9月8日から10日の3日間にわたって行われ、22名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。
なお、この文章は質問議員自らが作成しており、行数は発言時間に比例します。

■二次元コードを読み込むと、質問議員の質疑ページにリンクします。

新たな学校給食共同調理場の整備・運営は



政風会 木田都城子

問 事業者選定の考え方は。

答 事業者選定に係る、評価基準の設定や審査については、建築分野や食品衛生管理分野の学識経験者を外部委員に加えた、事業者選定委員会を設置し、適切に実施します。また、事業者選定委員会は、市プロポーザル方式の実施に関するガイドラインに基づき、公正・公平に進めます。

問 学校給食共同調理場の運営開始後のチェック体制は。

答 運営開始後においても、安全・安心な給食が提供できるよう、市が継続して業務履行状況を監視・指導します。具体的には、四半期ごとに一回以上の関係者協議会を開催するほか、月一回開催する月例運営会議において、対面モニタリングなどを実施する予定です。また、受託事業者に対しては、各業務のセルフモニタリングを実施するとともに、市のモニタリングに対して、最大限協力することを求めていく考えです。

問 地域への開放はどのようなものが想定されるのか。

答 今後、民間事業者からより良い提案を求めることとし、具体的には、研修室等を活用し、食育推進に資する講座の開催などが挙げられます。また、放課後児童クラブへの昼食の提供など、民間事業者のノウハウを生かした自主事業提案を期待しています。

本市のサイクルツーリズム推進を



政風会 田頭 弘毅

問 ナショナルサイクルルートの指定を踏まえ、サイクルツーリズム推進に向け、今後どのように取り組むのか。

答 市民・関係団体等やふくしま浜通りサイクルルート推進協議会とともに、サイクルツーリズムを推進していきます。本市の魅力を国内外に向け、戦略的かつ効果的に情報発信し、広域周遊への意欲醸成を図ります。さらに、浜通りで開催されるサイクリングイベントと連携し、インバウンド誘客など、国内外からの誘客を促進し、本市並びに浜通り地域の地域活性化とブランド力の向上を図ります。

こども食堂について

問 こども食堂への今後の支援は。

答 こども食堂は、子供たちへの食事提供という役割に加え、地域の方々との交流や子供たちを地域全体で見守る居場所として、その重要性がますます高まっていると認識しています。引き続き、中間支援団体との連携を密にし、新たな食堂の開設に向けた支援や既存の運営団体が自走できる仕組みづくりに重点を置いた支援に努めていきます。

■その他の質問

○本市の水産振興について

○本市の人口減少への取組について

湯本駅周辺のまちづくりに市民意見の反映を



創世会 佐藤 和良

問 建物や店舗の移転に伴い権利者が納得できる補償を。

答 今後も、補償に対する御理解と御納得が得られるよう丁寧な説明に努め、権利者の皆様に寄り添いながら、事業を進めていきます。

市指定無形民俗文化財じゃんがら念仏踊りの継承へ支援を

問 費用のかかる道具の更新等は補助金の対象か。

答 昨年度からは予算措置を講じており、今後は、各団体のニーズを把握し予算確保に努め、民間の支援制度の活用も視野に、適切に対応します。

風船爆弾勿来基地、戦争遺跡の保存と活用を

問 どう捉えているか。

答 風船爆弾勿来基地は、戦時中の状況や教訓を今に伝える貴重な戦争遺産であると捉えています。

介護サービスの充実に向けた取組を



政風会 草野 大輔

問 サービスの地区間格差の是正に向けた今後の取組は。

答 国では、中山間地域などにおいて柔軟なサービス提供を可能とする「特定地域サービス」等を創設することとしており、市では当該サービス等の指定に向け、動向を注視していきます。また、地域間格差の是正に向けた取組について、市介護保険運営協議会で議論を深める考えです。

民俗芸能の保存・継承のための取組は

問 担い手確保や継承の在り

方等を協議する場を設けることについて、市の所見は。

答 横のつながりを強化する取組は重要であるため、協議の場の設置を含め、保存・継承に向けた取組について、各保存団体の意向等を確認しながら検討してまいります。

農業経営基盤強化促進法改正に伴う地域計画の推進を

問 推進体制の強化に向けた今後の取組は。

答 関係機関等と連携を強化し、地域計画の進捗管理等を図ります。また、農業経営を5年以内に継承する方への支援金創設や農業参入企業の誘致を目的とした事業を開始しました。地域の機運醸成に向け、地域計画の必要性などを地域の協議の場への参加等で積極的に周知していきます。



真政会
小菅 悟

本市の野球文化の振興を

問 いわき甲子園プロジェクトの今年度の事業計画は。

答 東日本国際大学附属昌平高等学校に対する支援のほか、今後は、甲子園で優勝経験のある山梨学院高等学校を招待し、市内の4つの高校と強化試合を行う「高校野球フェスティバル」を11月に開催します。そのほか、東日本国際大学野球部や元プロ野球選手による小中学生への野球教室などを計画しています。

問 今年度のプロ野球開催による経済効果は。

答 1軍戦のヤクルト対巨人戦について、バス、タクシー等の交通や来市者の宿泊などの直接的な経済効果額は約2億円でした。また、産業連関分析による総合的な経済効果額は約3億円です。プロ野球の開催は、本市にとって大きな経済効果をもたらす優良なコンテンツと認識しています。



▲本市で12年ぶりに開催されたプロ野球1軍公式戦の様子

問 野球による地域創生の実現に向けた市長の考えは。

答 昌平高校の甲子園出場とベスト16の成果を踏まえ、甲子園プロジェクトも一段上のステージを目指します。市内各高等学校の力を引き出し、各校が切磋琢磨していけるよう取り組みます。また、市内の小中学生球児の高校入学時の地元定着を促す取組も進め、子供たちが夢や目標に向かって挑戦できるよう、全力で後押ししていきます。



公明党
塩田美枝子

高齢者が健康を守り、安心して暮らせるまちづくりを

問 70歳時接種の費用対効果が有用である肺炎球菌ワクチンに対する市の助成は。

答 国の動向を注視し、ワクチンの有効性、安全性、費用対効果等、費用助成の導入に係る検討を進めます。

ペットボトルキャップの回収でワクチン支援を

問 キャップの回収を通じてワクチン支援につなげるエコキャップ運動推進のため、ペットボトルキャップ回収ボックスを本庁舎に設置しては。

答 エコキャップ運動は、環境保護や人道支援にもつながる有意義な社会貢献運動の一つと認識しています。本庁舎への回収ボックス設置に向け、管理方法等を検討します。

多文化共生社会の推進を

問 インバウンドや観光客の利用が期待される、タクシー配車アプリの導入は。

答 配車アプリはタクシーの利用促進に寄与し、公共交通のDXを後押しするものと考えます。市内各事業者において導入に向けた検討が進められていることから、今後の動向を注視していきます。

問 商業施設内への多文化共生センターの開設は。

答 利用者ニーズの把握、事業効果や運営体制等を総合的に勘案し、調査研究します。



創世会
坂本 稔

冠水道路での自動車水没時の対処法の市民への周知は

問 脱出用ハンマー等での脱出方法や、水深によっての対処法など、市で配布するハザードマップ等に分かりやすく掲載すべきでは。

答 各種ハザードマップの更新に合わせ、冠水危険箇所の注意喚起を強化し、緊急脱出方法等についても市公式ホームページ等で周知に努めます。

アクアマリンパークエリアの魅力づくりは

問 若者・子育て世代のためアクアマリンパークエリアに観覧車の建設等、遊園地や公園の開設を検討すべきでは。

答 実現に向けては乗り越えるべき課題もありますが、中長期的な視点を持ち、アクアマリンパークエリアの魅力と価値を高め、多くの方が訪れ、集い、未来への希望を描くことのできるまちづくりを実現すべく、検討していきます。



共産党市議団
菅野 宗長

平和教育のため長崎市への中学生派遣を

問 日本非核宣言自治体協議会と平和首長会議に参画する本市として、平和と核廃絶を

目指す重要性をつかむことができる長崎市へ、本市の中学生を派遣すべきでは。

答 今年度は長崎市の中学生が来市し、交流を図ったところであり、他自治体との交流を通じ、平和について学ぶことは大切な経験であることから、今後も引き続き平和学習の在り方を検討していきます。

最高裁判決を踏まえた生活保護費等の追加給付は

問 **追加給付金は収入認定の対象となるのか。**

答 対象となりません。

商店街の街路灯の維持・補修支援制度の強化を

問 **電球交換や電気料金等、街路灯の維持・補修への支援制度を強化すべきでは。**

答 商店街のニーズを踏まえた支援の在り方について、調査・研究していきます。

臨海部大規模事業所撤退・縮小に係る取組は

問 **離職を余儀なくされる方の再就職に当たって生じる様々な課題への対応は。**

答 職種や給与、年齢等のミスマッチが生じることも想定されることから、産業雇用安定センターと連携し、再就職活動を支援していきます。



フォーラムいわき
吉田 雅人

（仮称）いじめ防止等に関する条例の制定は

問 **（仮称）いじめ防止等に関する条例を制定する必要性に対する認識は。**

答 現在の組織の効果的な運用や各学校の取組の充実などを着実に進め、そこから得られた、いじめに対する対応の分析・検証・評価を積み重ねる必要があると認識しています。それらの分析を踏まえ、条例制定の必要性を検討することが肝要であると考えます。

指定管理者制度における管理・監督体制の強化を

問 **指定管理者制度の基本方針の見直しに対する考えは。**

答 今般の総合体育館の事案などを受け、庁内関係部署とも共通認識を図るため、遺失物の管理やモニタリングの強化などについて、当該方針や方針に基づく事務処理要領に必要な規定を盛り込むことを検討します。

公共施設への民間活力導入及び民間譲渡の在り方は

問 **今後の公共施設譲渡において、施設ごとの個別対応ではなく、一定の共通ルールを整備する考えは。**

答 民間譲渡は、施設や立地の特性等も踏まえ、個別具体的かつ慎重に検討する必要があります。事業継続期間、用途制限、転売制限、撤退時の対応等の画一的な共通ルールの整備の必要性を検討します。



政風会
佐藤不二夫

「育て続けられる街」の実現に向けた戦略的な取組は

問 **住み続けられる生活インフラの整備に向け、今後どのように取り組んでいくのか。**

答 全庁的な全体最適の視点で政策を組み立てることが重要であり、様々な輸送資源を複合的に組み合わせた新たな地域交通の検討や、医療・産業・教育等、本市の強みや挑戦を一つの価値としてつなぐ取組を進め、若者が本市にとどまり、戻ってくる市政の舵取りをしっかりと果たします。

部活動の地域展開について

問 **部活動地域展開推進計画に大会会場等への移動手段確保について反映すべきでは。**

答 他自治体等の事例を踏まえ、保護者の負担軽減に向けた支援について、同計画に位置付け、具体的な支援の在り方を検討していきます。

問 **持続可能な移動手段の支援スキーム構築等の取組は。**

答 モデル事業等の成果と課題を踏まえ、部活動地域展開推進計画を策定し、併せて、まちづくりの経営指針を踏襲して策定する中期戦略に、重点的に取り組む事業として位置付け、全庁的な推進体制を強化し、より良い地域展開となるよう鋭意取り組みます。

■その他の質問

○本市林業の振興と市豊かな森づくり・木づかい条例の実効性確保について



政風会
根本 重和

学校給食について

問 **給食回数を見直し、給食提供回数を増やす考えは。**

答 給食回数を増やすことは、保護者の負担軽減や、地域経済の活性化につながることが期待される一方、新たな財政需要という課題が生じます。他自治体では、特定の学年のみで行事がある際、他の学年では給食を提供している例もあることから、こうした事例を参考としながら、関係部局と協議を行ってまいります。

問 **児童生徒の給食量が足りているかについての把握は。**

答 毎年、市内の小中学生と保護者を対象としてアンケート調査を実施しており、「給食の量が足りていないと感じる」との意見がある場合、その理由についても、併せて調査することとしています。

地域振興と人材育成について

問 **「地域づくりは人づくり」という考え方を、今後の市の地域振興策として明確に位置付ける考えは。**

答 地域が主体となり、持続可能な地域社会を構築する上で、「地域づくりは人づくり」という考えは大変重要な視点

です。本市としては、「人づくり」に向けた取組を積極的に推進しながら、地域の方々と共に考え、地域の実情に応じた地域振興策に官民協働で取り組んでいきます。



創世会 狩野 光昭

系統用蓄電所事業計画の建設撤回を

問 平上荒川地内に計画されている特別高圧蓄電所に対し、近隣住民から建設反対を求める署名が提出された件について、市長の対応は。

答 実施に係る法令や行政手続きを見える化し、事業者に示して事業の安全を担保します。さらに、住民との丁寧な意思疎通等を促すガイドラインを策定し、市民の安心・安全を守っていきます。

小名浜製錬所等や港湾労働者の雇用確保を

問 小名浜地区労働組合協議会及び菱浜興業労働組合からの、再就職支援等の要望に対して、市の対応は。

答 本市、公益財団法人産業雇用安定センター、いわき商工会議所の三者連携協定に基づき、再就職支援の取組を具体的に進め、11月開催の転職応援合同企業説明会について準備を進める考えです。

問 港湾労働者の雇用維持・確保に向けた取組は。

答 継続的な県への要請に加え、今般選定されたサーキュラーエコノミーポート等の動きを捉え、関係機関と連携し、貨物量の拡大に努めます。

【サーキュラーエコノミーポート】
循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現に向け、循環資源に関する物流ネットワークの拠点の形成や高度なリサイクル技術を有する産業の集積に取り組む港湾29港を、国土交通省港湾局が選定しました。



公明党 柴野 美佳

問 福島県及び本市における、中小企業への最低賃金引上げに対する補助金の継続支援は。

答 今年度は、今後の国の経済対策の動向や、県の対応を見極めたいと考えています。

不登校児童生徒の切れ目ない支援を

問 加配教員を伴うスペシャルサポートルームの増設は。

答 増設に向けて、引き続き県教育委員会に要望します。

問 学校内の安心できる居場所について現在の設置状況は。

答 市内の小学校4校、中学校8校が独自の校内教育支援センターを設置し、前年度と比較して1校増えています。

問 チャレンジホームの体験活動や交流活動の充実は。

答 公民館へ設置した利点を生かし、有意義な体験活動等ができるよう連携を進めます。

問 教室と校内の居場所をつなぐオンライン学習は。

答 必要に応じて、どの教員でも対応ができるよう、各校の取組を支援します。

問 意見や要望等を届けやすく、相談につながる仕組みを。

答 傾聴AI等オンラインツールの活用で、どのように教育相談につなげていくことが可能か調査研究を行います。

問 不登校支援コーディネーターの配置を。

答 役割や業務内容を踏まえ、他部局とさらに連携を図りながら、その在り方について意見交換を進めます。



創世会 福嶋あずさ

障害のある方の住まいと待機者支援は

問 障害者支援施設への入居を希望している待機者数は。

答 市内施設への調査によると、男性32名、女性24名です。

問 重度の障害のある方が、地域で生活するための住まいは十分確保されているのか。

答 24時間の支援体制を確保し、日中支援型グループホームの環境整備など、地域移行を進めていますが、重度の知的障害や強度行動障害など、障害の程度に合わせた支援について、さらなる充実が必要と認識しています。

■その他の質問
○共同親権の市対応について



共産党市議団 四家 智之

避難所の備蓄品対策等は

問 避難所となる学校体育館等へのエアコンの早期設置は。

答 国は学校体育館等のエアコン設置率について令和13年度中に100％とする方針であり、可能な限り早期の整備に向けて検討していきます。

内水氾濫の対策は

問 アンダーパスへのワンコイン浸水センサの活用は。

答 市では本センサを令和6年度から市内42か所に75基設置し水防業務に活用しています。本年度は新たに13か所に26基を追加設置予定です。



フォーラムいわき 小野 光貴

津波避難施設の安全確認や避難誘導等の対応は

問 イオンモールいわき小名浜を津波避難施設として使用する上での課題は。

答 イオンモール熊本の事故は、地震により、ガス設備等に破損が生じ大規模な爆発が発生したと報道されており、本市は、設備等に起因する事故の発生を想定していなかったため、今後は、地震発生直後に設備等も含めた施設の安全性の確認が課題です。

理数系人材育成に向けた取組は

問 本市独自の理数系人材育成を構築する考えは。

答 福島大学ＳＴＥＡＭ研究所や福島高専等を視察し、その知見を基に市独自の探究活動成果発表コンテストを企画しています。今後も、いわき中学生Ｂａｓｅｃａｍｐ等の取組を充実させ、理数系人材の育成につなげる考えです。

終活支援体制の整備は

問 終活相談等の支援をより一層推進するため、終活支援体制を強化する考えは。

答 現在の支援事業やいわき安心ノートのほか、リビングウィルやエンディングノートの保管場所等の登録制度の創設を検討するとともに、終活支援に関する総合的な相談支援体制の調査・研究を進め、支援体制の強化に努めます。

若者が戻りたくなる仕組みづくりを



創世会 鈴木さおり

問 約束の成人式実施経緯は。

答 新型コロナウイルス感染症で中止した令和3年成人式の参加対象者等からの要望を受け、企画・開催しました。

問 約束の成人式事業成果は。

答 若者たちが再び未来に向かって力強く歩み出す契機になったと評価しています。

問 いわきファンクラブの今年度の会員交流事業は。

答 スナックいわきにより東京で本市の魅力に触れられるたまり場づくりを目指します。

原子力防災訓練について

問 昨年度の訓練内容は。

答 自主防災組織を対象に第一原発の視察、市職員等説明による座学を実施しました。

問 今後も行っていく目的は。

答 防災意識を維持・継承し、適切な防護措置を取る体制構築に向け、継続する考えです。

オストメイト等の支援の充実を



公明党 塩沢 昭広

問 オストメイトの方々に対する、定期的なニーズ調査を含めたアンケート等の実施は。

答 オストメイトの皆様が日常的に使用される用具や、資材の実態、その時々のニーズを的確に把握することは、支援の質を向上させる上で有意義であると認識しています。その手法や主体、役割分担は、当事者団体の皆様とも相談しながら、検討していきます。

高齢者世帯熱中症対策エアコン購入補助事業について

問 低所得者等の声を反映した、事業の見直しを含めた、今後の事業の見通しは。

答 本事業は来年度までの3年間のモデル事業であり、今後は事業効果と改善点等を把握し、アンケート調査の結果等を踏まえ、事業を検証し、対象範囲や補助額等を含め、有効性等を見極める考えです。

安心・安全に暮らせるまちづくりへの取組は



創世会 遠藤 崇広

問 ごみステーション施設整備補助制度の創設の考えは。

答 補助制度による、ごみ集積所のボックス設置は、本市の集積所が多いことや、既設置集積所との公平性等の課題がある一方、ごみ散乱防止による衛生面向上や管理者負担の軽減に寄与すると考えます。今後は、地域のニーズ調査で実情を把握しながら、他自治体の制度を調査し、本市に適した在り方を検討します。

問 空き家の現状と、今後の空き家対策への取組は。

答 空き家の通報件数は増加傾向であり、来年度からの次期計画では、特定空家に加え、特定空家となる恐れがある空き家を、管理不全空家として新たに認定し、指導対象とする等、対策を一層強化します。

■その他の質問

○令和8年熊本地震における課題に対する本市の備えは

農機具修理費の補助制度の創設を



共産党市議団 塩 恭子

問 小規模農家を守るため、三重県津市と同様の、農機具修理の補助制度の創設は。

答 農業を取り巻く環境の変化に適時適切に対応し、他市の補助制度等、先進事例について調査・研究していきます。

市文化センターのトイレ洋式化を

問 今後のトイレの洋式化の改修計画は。

答 今後、施設全体の老朽化に伴う改修のタイミングを捉えながら、具体的に検討し、取り組む考えです。

小中学校トイレへの生理用品設置の対応は

問 すべての学校に生理用品を設置すべきでは。

答 今後も各学校と情報共有を図り、学校現場の意見も踏まえながら、生理用品の設置をさらに推進していきます。

水道事業の次期料金等の見直しは



フォーラムいわき 伊藤 浩之

問 今後の収支の見通しは。

答 来年度から令和13年度までは赤字で資金残高は令和12年度中に枯渇する見込みです。

問 水道事業経営審議会の現時点での審議状況は。

答 収支不足を補うため、17％の料金水準の引上げや料金

体系の見直し等を審議中です。

問 **一般世帯が多い低単価区分の水量料金の引上げ率を大きくする理由は。**

答 大口の水需要の減少の中、需要の減少に影響されにくい料金体系へ変更するものです。

問 **市民への今後の対応は。**

答 広報・周知に努めます。

いわき市労働福祉会館の存続を



創世会 上壁 充

問 **勤労市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、市労働福祉会館を存続させるべきでは。**

答 市労働福祉会館は、近隣に会議室機能を有する公共施設等が設置されたこともあり、施設の利用率は低下し、老朽化も進み、安全性にも課題があることから、廃止とされたところです。しかし、同館が担ってきた市内中小企業の従業員の福利厚生をはじめ、労働相談や労働関係の啓発等の重要な機能については、施設の廃止後も、適切に維持していく考えです。

議員定数のあり方検討特別委員会

令和８年８月９日、本市議会の議員定数のあり方等を検討するため、市民を対象とした公開講座を開催しました。

また、これまでの調査・検討の経過と結果について、９月定例会において中間報告のため、委員長報告を行いました。



▲市民と議会をつなぐ公開講座



▲９月定例会での委員長報告

議会改革推進検討委員会

これまで（令和６年10月～令和８年９月任期）協議・検討してきた結果を、議長に報告しました。



◀正副委員長から正副議長へ報告

政策提案検討委員会

議長、副議長並びに政策提案検討委員会委員長及び同委員会副委員長が、公共交通の利用促進に関する提言書を市長に提出しました。

また、これまで（令和６年10月～令和８年９月任期）協議・検討してきた結果を、議長に報告しました。



▲市長へ提言書を提出



▲正副委員長から正副議長へ報告

会派の変更について

本紙５ページ及び６ページから11ページへ掲載の会派名は、令和８年９月定例会時点のものです。

９月30日に、会派構成の一部が変更となっています。

新しい会派名簿については、市議会公式ホームページで御覧になれます。

決算特別委員会を設置

令和７年度一般会計及び特別会計・企業会計決算の認定に関しては、決算特別委員会を設置した上、専門的な立場から審査を行うこととしました。

これらの審査は、継続審査とされ、９月定例会の閉会後に開催された特別委員会において審査を行いました。

設置された２つの決算特別委員会委員の構成は、市議会公式ホームページを御覧ください。

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本21番地
いわき市議会事務局 総務議事課
電 話 (0246) 22-7535 FAX (0246) 23-5112
E-mail gikai-somugiji@city.iwaki.lg.jp

議会報告会 意見交換会

市民の皆さんと議員の対話! R8

議会報告会・意見交換会は、開かれた議会の実現に資するよう開催しています。

政策総務常任委員会
文化財の保護・活用と担い手確保について

日　時：7月12日(日) 午前10時～正午
場　所：いわき市役所議会棟
相手方：いわき地域学會　1名
　　じゃんがら念仏踊関係団体　5名
　　NPO法人常磐炭田史研究会　4名
　　いわきヘリテージ・ツーリズム協議会　3名



市民生活常任委員会
多文化共生について

日　時：7月2日(木) 午前10時～午前11時30分
場　所：いわき市役所議会棟
相手方：いわき市国際交流協会職員　4名
　　海外にルーツを持つ市内居住者　3名



教育福祉常任委員会
不登校児童生徒の支援について

日　時：5月25日(月)午後3時～午後4時30分
場　所：いわき市役所議会棟
相手方：不登校の子を持つ親の会の運営者　6名
　　フリースクール、子ども・若者の居場所等の運営者　9名
　　保護者　3名
　　児童生徒等　5名



産業建設常任委員会
次世代を担う経営者と語るいわき市産業の未来

日　時：7月24日(金) 午後5時30分～午後7時
場　所：いわき産業創造館
相手方：いわき次世代経営者塾 修了生　8名



◆ 参加された皆さんからいただいた御意見・御感想を、市議会公式ホームページに掲載しています。各常任委員会の欄内にある二次元コードより、御確認ください。

次期定例会日程(予定)のお知らせ

次期定例会は12月3日(木)から12月17日(木)までの会期で開催される予定です。

月　日	開会時刻	会議内容
12月3日(木)	午前10時	本会議(初　日)
12月4日(金)		休　会
12月5日(土)		休　会
12月6日(日)		休　会
12月7日(月)	午前10時	本会議(一般質問)
12月8日(火)	午前10時	本会議(一般質問)
12月9日(水)	午前10時	本会議(一般質問)
12月10日(木)	午前10時	本会議(一般質問)
12月11日(金)	午前10時	常任委員会
12月12日(土)		休　会
12月13日(日)		休　会
12月14日(月)	午前10時	常任委員会
12月15日(火)	午前10時	特別委員会
12月16日(水)		休　会
12月17日(木)	午前10時	本会議(最終日)

※　日程、開会時刻は質問者数や議事の内容等により、変更になる場合があります。

表紙写真

8月2日(日)、小学4年生から6年生までの児童の皆さんとその保護者30組60名を迎え、夏休みおやこ議場見学会を開催しました。今年は市制施行60周年及びいわき市議会発足60周年にあたることから、オープニングイベントとして、いわき市を中心として演奏活動をしている一般団体の吹奏楽団「凛」による記念のコンサートを併せて開催しました。

今年の夏は雨が多く全国各地で線状降水帯が発生し多くの方が被害に遭われました。

熊本では10年前にも地震の被害に遭い、復興半ばにしてまた、大地震に遭いました。市内でも水害で犠牲者が出てしまいました。お亡くなりになった方々へ心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに被災者の方々へお見舞い申し上げます。

9月3日より開会されました定例会は、6日から7日の大雨による水害の対応のため、7日の議事は延会となりました。市民の皆様にできる限りの支援を行ってまいります。

(議会報編集委員)

いわき市議会公式ホームページからも、いわき市議会だより「ほうれんそう」データ版を御覧いただけます。

詳細は➡こちらから